



KAGOSHIMA CURECARE GOLF PROJECT

共同開発者

- **鹿児島大学産学・地域共創センター**
〒890-0065 鹿児島市郡元1丁目21番40号
TEL 099-285-8491 / FAX 099-285-8495
- **株式会社キュアケア**
〒890-0056 鹿児島市下荒田4丁目40番14号
TEL 099-203-0038 / FAX 099-833-3076
- **OKASHIMOZE**
〒899-2705 鹿児島市直木町4606-2
TEL 090-2518-9655

研究題目 アクティブシニア層向けコンピューターゲーム開発
鹿児島市新産業創出支援事業補助金 採択事業

鹿児島大学産学・地域共創センター
株式会社キュアケア
OKASHIMOZE

グラウンドゴルフをコンピュータゲームで

■ プロジェクトの目的

シニア世代の「身体能力」と「やる気」を、コンピュータゲームを用いて向上させる。

■ なぜゲームなのか？

平成28年8月から12月に実施した鹿児島市と鹿児島大学との介護予防モデル事業では65歳以上の男女を対象とした2種類の運動トレーニングの比較検討を行った。ゲームを用いた運動と体操を主体とした運動とを比較したところ、ゲームを用いた運動の参加者は、体操を主体とした運動の参加者よりも、高い継続性と強い周囲への伝播が見られた。そのことから、ゲームを用いた運動トレーニングは、普及拡大が見込める可能性が高いことがわかった。

特に社会的に孤立しやすい男性を誘いたいという声が多かったのも特徴である。さらに、天候や場所に左右されず、いつでもどこでも誰とでもできることも大きなメリットである。

■ なぜグラウンドゴルフなのか？

シニア世代を対象とするため、まず分かりやすく誰でも簡単に始められるコンセプトを持ち、競技人口が増加しているグラウンドゴルフに着目した。グラウンドゴルフは、協調（コミュニケーション）と競争が入り混じった、運動上も精神的にも双発的な側面をもつため、参加者の心身に影響を及ぼすことができる。さらに鹿児島県はグラウンドゴルフ競技人口が全国第二位であり、参加障壁が低いことも選定理由の1つである。

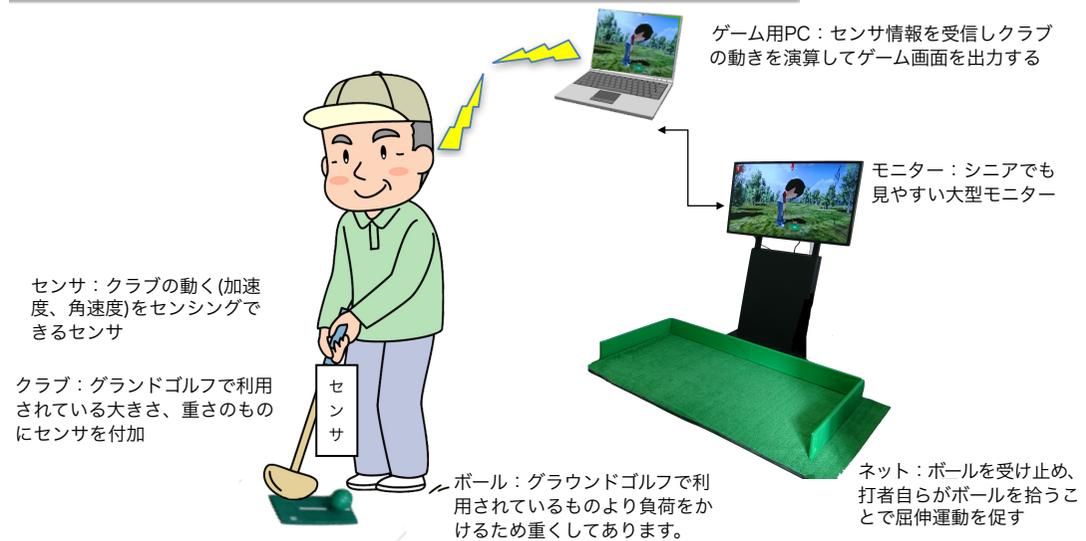
■ 体操と組み合わせバランス良く

グラウンドゴルフは、利き手の関係上左右対称に動かすスポーツではないため、グラウンドゴルフで動かさない筋肉をカバーするように体操と組み合わせることでさらに効果的である。参加する高齢者に合わせて体操をゲームの前後に組み合わせ利用していただきたい。

コンセプト

- シニアでも楽しめて簡単で分かりやすい
- プレーヤー間でコミュニケーションを取りやすい
- ゲームをしながら実際に体を動かす
- 身体機能の向上だけでなく、参加意欲の維持向上も同時にねらう
- 実球打ち等の抹消神経への刺激があること
- 実際の打球軌跡を、設定パラメーターに基づき画面上のボール軌跡を描画できること

システム構成



ゲーム画面

